

令和5年度第2回丹波篠山市総合教育会議 議事録

1 日 時

令和5年10月24日（金） 16時42分～18時03分

2 場 所

丹波篠山市役所第2庁舎 2-301・302会議室

3 会議に出席した構成員

市 長 酒井 隆明
教育委員会
教 育 長 丹後 政俊
教育委員 西田 正志
教育委員 山本 恭子
教育委員 鈴木 友美
教育委員 吉良 佳晃

4 事務局出席者

学 校 教 育 部 部 長 西 羅 忠 和
こども未来部 部 長 稲 山 悟
社 会 教 育 部 部 長 小 林 康 弘
学 校 教 育 部 次 長 岸 田 幸 雄
教 育 総 務 課 課 長 酒 井 寛 興
学 校 教 育 課 課 長 浅 田 智 広
教 育 研 究 所 所 長 足 立 圭 吾
学 校 教 育 課 指 導 主 事 木 村 匡 宏
教 育 総 務 課 課 長 補 佐 山 内 俊 秀

5 次第及び協議事項

別紙の通り

酒井市長	1 開会 皆様、定例会開催後ということでお疲れの中ありがとうございます。
酒井市長	2 協議事項 (1) 教育大綱の策定について 前回の会議での意見及びその後に提出いただきました意見に基づき、教育大綱（素案）を資料1に、意見及び対応一覧を資料2にまとめている。それでは資料について、教育委員会事務局より報告願う。
酒井課長	●資料に基づき説明 ＜主な意見交換内容＞
丹後教育長	1. ふるさと教育 (1) 丹波篠山ほど良いところはない……日本遺産のまち、農の都 ふるさと教育の目的として、ふるさとを愛する心の育成とともにシビックプライドの観点から「当事者意識を持って主体的にふるさとづくりに関わる心の育成」を記述してはどうか。
酒井市長 丹後教育長	「主体的に」だけで意味は伝わるのではないか。 それでよい。
酒井市長 吉良委員 酒井市長 西田委員	「ふるさとキャリア教育」を踏まえ、子どもたちが今後の人生に生かせる基礎的・汎用的能力の育成を心掛けており、そうした追記を提案している。少しかたい表現になっている。 「ふるさとを担う心を育む」ではどうか。 それでよい。 これまでから、「丹波篠山学」との記述があるが、そうした用語はない。
西田委員 吉良委員 西田委員 酒井市長	(2) 丹波篠山の食をいかした学校給食……地元食材活用率日本一 単に給食のおいしさだけでなく、食育の記述を加えたい。 追記の「～生産者への感謝の気持ちを育成」の後ろに加筆してはどうか。 追記自体が食育の記述であり、そこで良い。 地元食材活用率日本一を日本一おいしい給食に変えたのは良いが、おいしいだけではない意味も含んでいるので、よりよい表現はないか。
西田委員 酒井市長	学校給食日本一で良いのではないか。 「篠山の食」を「篠山の食材」に変更するとの提案であるが、食材だけでなく、生産者の生き方や思いを含んでいると理解いただきたい。
山本委員	理解した。食のままでよい。
酒井市長	(3) 自然とふれあう教育……学校にヒーローをつくろう 文章を修正したことにより、言いたかった意図が薄れているように感じ

丹後教育長	<p>る。また重複箇所もあるので、再検討する。</p> <p>「自己肯定感や道徳観・正義感など、将来を豊かに生きるための非認知能力を育成する」の加筆を提案したが、少しくどいような気もしている。</p>
西田委員	<p>自己肯定感や道徳観を残し、正義感、非認知能力を削ってはどうか。</p>
丹後教育長	<p>了解する。</p>
酒井市長	<p>木育はここに記述することで異論はない。</p>
	<p>2. 子ども・子育て支援の充実</p>
	<p>(1) 就学前の保育環境の整備</p>
酒井市長	<p>「子育てするなら丹波篠山」との加筆については、どこにでもある表現であり、良い案はないか。</p>
山本委員	<p>新しく作ったパンフレットで使用している「ぐんぐんのびる」はどうか。</p>
酒井市長	<p>それが良い。</p>
鈴木委員	<p>ソフトの面で最も不足している保護者の孤立解消に向け「つながり」記述が入ったことは評価できると思う。</p>
	<p>(2) 早寝・早起き、朝ごはん</p>
西田委員	<p>近年、朝ごはんを食べる率が下がっており、残した方が良くと思う。</p>
	<p>3. 地域とともにある学校</p>
	<p>(1) コミュニティ・スクール……市民みんなが学校づくり</p>
西田委員	<p>コミュニティ・スクールについては、市民の側から学校をみた「学校は市民みんなのもの」に加え、学校から地域を見た「地域とともにある学校づくり」の両方を記述することは良いことである。</p>
酒井市長	<p>すべての「園」はすべての「幼稚園・こども園」と記述した方が分かりやすい。</p>
	<p>(2) 高齢者とともに学ぶ……おじいちゃん・おばあちゃんも学校へ</p>
酒井市長	<p>コロナ禍もあり、取組状況はどうか。</p>
丹後教育長	<p>地域によって差はあるが、学校の運動会や文化祭等における参加率は高いと思う。</p>
西田委員	<p>当時、学校側としてはハードルの高い取組と思っていたが、取り組むと良いことであると感じた。ただ、オープン講座という名称ではなかったと思う。</p>
吉良委員	<p>交流事業でよいのではないか。</p>
酒井市長	<p>そのように修正する。</p>
	<p>4. 学力の確立と向上</p>
	<p>(1) 読み、書き、計算、自己表現……一人も見捨てない</p>
丹後教育長	<p>読み、書き、計算、自己表現も良いが、他にも思考力や判断力、協調性</p>

